

令和7年度 第2回 入野小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月24日（木） 9時から10時30分まで
- 2 開催場所 入野小学校 会議室
- 3 出席委員 山田 渉、岩田 邦泰、青木 有美、中村 勝彦、上水 孝徳
河口 光善、古橋 明美 原田 実穂、朝比奈 孝、北村 香苗
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 野嶋 俊之（入野協働センター所長）
- 6 学校 坪井 百合子（校長） 江間 慎一郎（教頭）
阿部 恭大（教務主任）
辻村 佳之（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 辻村 佳之
- 9 議長の選出
議長の選出について、前回の会議中に山田会長から朝比奈委員を推挙する旨の発言があり、朝比奈委員も快諾。他の委員も全員異議無くこれを承認した。
- 10 協議事項
・学校評価の考察と2学期からの重点事項の検討
※教職員を交えたグループ別協議と全体での協議
- 11 会議記録
司会の教頭から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。
- 12 熟議
(1) 学校評価の資料の説明
議長の指示により、担当の教務主任から学校評価（1学期）にかかわる資料説明があった。
○ 本校の強み
本校の強みの1つ目は「②友達と一緒に勉強したり運動したりして、分かったことやできたことが増えている」の項目の肯定的な回答が、3者（児童・教職員・保護者）とも90%を超えていることである。2つ目は、昨年度より重点項目として取り組んできた「⑩自分で自分のことを『頑張っている』や『人の役に立っている』などとほめることができる」の項目が、2者（児童と保護者）で向上したことである。「ほかほかカード（児童用）」や「ほめほめカード（保護者用）」の実施が、自己肯定感を向上させた要因である。3つ目は、「④入野小は、いじめがなく、楽しく安心して生活できる」の項目は、3者（児童・教職員・保護者）とも昨年度より7

～12%の向上が見られたことである。

本校の弱みの1つ目は「⑦タブレットを使うと、自分の考えをまとめたり、友達の考えを知ったりするのに役立つ」の項目で、2者（児童・保護者）の評価が下がったことである。2つ目は、「⑩けがをしないように、安全に気を付けて遊んだり、活動したりしている」の項目で教職員の評価が昨年度よりも大幅に下がったことである。3つ目は、「①夢（これから〇〇をやってみたい、〇〇な人になりたいなど）をもっている」の項目では、2者（教職員・保護者）で評価が下がり、児童と2者との意識の差が大きいことである。

(2) グループ別協議

○…入野小の「強み」と「弱み」

●…2学期に重点的に取り組みたいこと

【Aグループ】

○ 強み

- ・友達と頑張ることは全学年にみられる。
- ・顔見知りが多く、相手の気持ちを考えたかかわりが見られる。
- ・母ボラやCSなど、校外の環境が整っている。

○ 弱み

- ・顔見知りが多いことで日ごろの生活が慣れ合い、言葉遣いが悪い。
- ・いじめ問題は教職員が見届けられない場面があり、児童生徒に理解できるよう指導することが必要。

● 運動会など学校行事関係で児童と教職員の縦のつながり、教職員と保護者との横のつながりを利用して共通認識を持ち理解してもらうよう務める。

【Bグループ】

○ 強み

- ・いじめがなく安心することや考えを出し合うことができること、学校やクラスがよくなるように話し合うことができている。
- ・転入生の受け入れが上手で優れている。
- ・ぽかぽかカードの活用として、給食の時間の放送等で内容を紹介している。

○ 弱み

- ・タブレット操作に個人差があり、うまく活用されていない。

● 元気・協力・笑顔をテーマに活動し、児童、教職員、地域住民が一体となり、いじめ等が起こる場面を作らないよう、挨拶運動を推進していく。

【Cグループ】

○ 強み

- ・児童の自己肯定感について、前年度より効果があがっている。
- ・タブレットの活用により、自分の意見を伝える場になっている。

- 弱み
 - ・安全な生活についての捉え方が、子どもと教職員との認識のギャップがある。
 - ・「入野小のくらしを守る」ことへの児童の評価が低い。
- 児童とのずれは、5・6年でミッションという形で児童・教職員と一緒に考え実行していく。児童の記述にある「いじめ」を減少するために、ぽかぽかカードを活用する。

【Dグループ】

- 強み
 - ・人なつっこくて元気がよく、友だちと仲良くしようという意識が強い。
 - ・ぽかぽかカードの活用で、自分も他人のことも褒められる肯定感が高まった。
 - ・いじめに対する意識が向上した。
- 弱み
 - ・人なつっこい反面、不審者に騙されないかが心配。
 - ・規範意識が低く、自己判断能力が乏しい。
 - ・健康に気を付けた生活をする意識が、昨年度よりも低下している。
- 他者だけでなく自分をほめるためにぽかぽかカードを活用して、頑張っていることや人の役立つことなどをほめることに努める。
- 学校のルールを守り、規範意識を自己判断で行うよう意識を高める。
- 自分の知らない人や教職員に挨拶をするよう、挨拶運動を広めたり、教職員から挨拶をし続けたりする。

(3) 全体熟議

- ・教職員の意見を増やしたり、今回発表があった意見を取り入れたりしながら、よりよい学校運営をしてほしい(山田会長)
- ・教職員からのアイデアを積極的に出すことが必要ではないのか。そのアイデアが保護者の心配事を解消できたらいいと思う。(岩田委員)
- ・代表委員会で「あいさつを広めたい」という意見が児童から出た。2学期からは自分から挨拶ができるように地域の方にも協力してほしい。例えば、朝の旗振りの日に挨拶イベントを企画して、入野校区あがての「挨拶運動」をお願いしたい。
(幸一教諭)
- ・運営協議会の委員の方々も、時間を作って参加したらよいと思う(青木委員)
- ・さくら連絡網を活用して、家の近くで挨拶運動をお願いするという配信もできるのではないか(岩田委員)
- ・学校評価アンケート結果の教職員の欄に赤項目が多いのは、教職員が真剣に考えた結果で安心した。今回の会議で、学校側とCSメンバーが一緒になって入野小の子供たちのために一生懸命考えていただき、嬉しい。この型がモデルとなって市内に広がっていったらよいと思う(坪井校長)

13 連絡事項

- ・教頭より、本年度の会議は10月2日(木)14時からと来年2月12日(木)14時からの2回の開催を予定していることと、次回の議長を朝比奈委員に了承していただいたことの報告があった。
- ・本日、図書室で開催されている夏休み入っ子ひろばの見学をしてほしいという報告があった。